

平成20年度事業概況報告書

平成20年4月1日

平成21年3月31日

平成20年度はまさしく多事多難な年度であった。上半期においては、昨年度に引き続き原油価格の高騰とそれに付随した各種原材料の値上がりがみられた。しかし下半期には、サブプライム問題に端を発したアメリカ発の信用収縮問題は、平成20年9月15日のリーマン・ブラザーズの事実上の倒産によって世界的な金融恐慌に発展した。このため世界同時株安と原油価格の大幅な低落が起きた。また円高の進行により日本経済を今まで牽引してきた、自動車・家電・精密機械など基幹産業の業績が加速度的に悪化し、派遣や期間雇用労働者のみならず常用雇用労働者も含めた雇用状況の悪化が進んでいる。一方で実態経済への影響も深刻化している。平成21年2月に内閣府から発表された「四半期別GDP速報」（1次速報値）では平成20年10～12月期の実質GDP成長率(季節調整済)は、前期比3.3%のマイナスとなった。これは、年率に換算すると12.7%にも達するマイナス成長であり、石油危機以来35年ぶりの落ち込みとなった。一方で食の分野においては安全性等に関し、消費者の不安を増幅させるような事件が頻発した。政府はこの事態を受けて消費者庁の設置をその机上に載せている。

これに加えて当協会会員の事業分野である乳業界では、飲用牛乳消費減退の傾向が継続するなかで、生乳取引価格の引き上げに伴い、消費者、流通に価格引き上げの必要性を理解してもらいながら消費減退を食い止めるという難しい課題に直面している。

こういったなかで当協会は、平成20年度5月26日に開催された第47回通常総会で、新会長に鈴木靖浩氏を選任し、新体制での運営を開始した。前年度からの引き継ぎ事項であった「乳等の紙コップに関する自主基準」、「乳等の樹脂容器に関する自主基準」「乳等の樹脂ふたに関する自主基準」及び「発酵乳、乳酸菌飲料及び乳飲料のPETボトルに関する自主基準」の5種類の自主基準の改定作業を完了し、当該自主基準の会員へ配布やホームページへの掲載を行った。同時にQ&A第4集の制定およびQ&A第1集の見直しを実施した。また、乳機器関連では、幅広い視点から技術セミナーを2回開催し、会員への情報提供に努めた。また会員にとって重要なコミュニケーションのツールであるホームページのリニューアルを実施し、会員間の情報共有ベースの強化を図った。

また当協会にとって喫緊の課題である民法法人制度改正への対応については、これを単なる民法法人制度単体の対応とは考えず、当協会の中長期の将来像を視野に入れた形で法人整備小委員会の答申が行われた。同時に同委員会から組織及び組織規程についてもこれを踏まえた改正案が提案された。

この様に当協会は、平成20年度、厚生労働省をはじめ各方面のご協力と関係者の方々のご尽力により、様々な活動に取り組んできた。今後は急速に進む外的環境の変化に俊敏に対応を進め、引き続き国民の食の安全と安心に密着した活動を前進させていきたい。

1. 通常総会

平成20年5月26日(月)第47回通常総会開催(KKRホテル東京)会員23社出席。

- (1) 議題：①平成19年度事業報告、②平成19年度決算報告、③平成20年度事業計画、④平成20年度収支予算案、⑤理事並びに監事選任。 全議案承認。
- (2) 平成19年度協会活動紹介…杉山繁哉紙容器部会技術委員長「自主基準に関する活動報告」、
- (3) 厚生労働監視安全課加地祥文課長講演…「最近の食品衛生行政について」

2. 主な活動

- (1) 技術委員長会議
協会関連技術事項の取り纏め、合意事項の確認、日程確認等
- (2) 定例技術会議
乳等省令プロジェクト
- (3) 乳機器部会
協会内外の講師による乳機器技術セミナー2回開催。(平成20年10月3日、平成21年3月16日)
- (4) 紙容器技術部会
紙容器関連技術事項の討議
- (5) その他の技術部会
関連技術事項の討議
- (6) 法人整備小委員会
改正民法法人問題等に対する討議、答申作成

3. 官公庁・関係団体などとの取り組み

- (1) 厚生労働省…省令改正関連自主基準の提出、乳等省令に関する検討協力
- (2) 関係団体等…社団法人日本乳業協会、ポリオレフィン等衛生協議会との意見交換。全国飲用牛乳公正取引協議会への協力(専門部会参加、情報交換等)。

4. 広報事業

- (1) ホームページ
リニューアルされたホームページによる協会事業の紹介。情報の鮮度管理の強化
- (2) 協会だより
印刷媒体としてホームページとも連携したタイムリーな記事構成への試み

5. 会員数

平成 21 年 3 月末現在	正会員	42 社
	賛助会員	5 社
	計	47 社

6. 会議等の開催状況

(1) 通常総会 平成 20 年 5 月 26 日	1 回
(2) 理事会	3 回
(3) 事業企画運営委員会	1 回
(4) 紙容器部会	5 回
(5) Q&A 小委員会	1 回
(6) 技術委員長会議	6 回
(7) 法人整備小委員会	5 回
(8) 乳機器部会	2 回
(9) 樹脂ふた分科会	1 回
(10) 定例技術会議	4 回
(11) 紙コップ・樹脂容器合同分科会	1 回

以上